コミュニティの多様性に対応する地域診断と公衆衛生看護

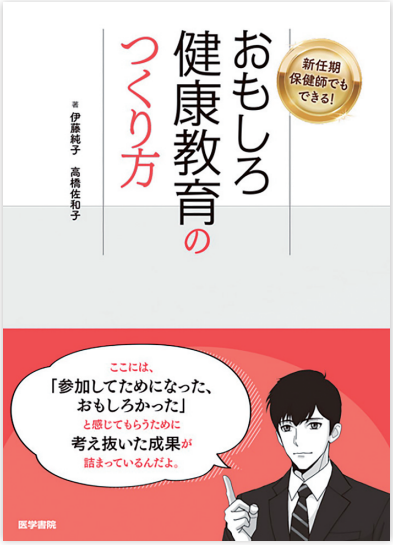
看護学科（公衆衛生看護学）　伊藤 純子（いとう じゅんこ）

- 連　絡　先　E-Mail : junkoito@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ　https://www.omoken-works.com/

キーワード　地域診断、コミュニティ・アセスメント、ニュータウン、健康教育、ヘルスコミュニケーション

主にニュータウンやタワーマンションなどの都市開発地域を対象に、公衆衛生看護における地域診断の在り方を研究しています。地域社会の多様化が進む中、従来の行政区分を基にした地域診断の方法では、住民の生活実態を十分に反映できないケースが増えています。そこで、保健師が地域診断を行う際のエリア設定を中心に、より柔軟で実態に即した診断手法の確立を目指しています。特に、住民の互助ネットワークやソーシャルキャピタルの形成を通じて、地域全体の健康増進を促す仕組みづくりに取り組んでいます。

その一環として、健康教育やワークショップを通じた住民参加型の取り組みを推進し、実践しています。こうした活動を体系化し、「おもしろ健康教育」として特に初学者や新任期の専門職向けにわかりやすく示し、より多くの人々に伝わる形で発信しています。また、保健医療福祉の専門職向けの研修や教材開発にも力を入れています。研究と実践の両面から、変化する地域社会に適応した地域診断の方法と公衆衛生看護のあり方を探求しています。



アピールポイント　医学書院刊『新任期保健師でもできる！おもしろ健康教育のつくり方』を執筆。「おもしろ健康教育」を若手保健師の成長ストーリーを通じて解説し、健康教育をわかりやすく楽しく実践できるようサポートする一冊です。